



私のウガンダ生活について～交通手段編～



こんにちは。今年は暖冬のようなのですがいかがお過ごしでしょうか？日本は卒業シーズンですね。ウガンダでは大統領選挙が終わり、先週から学校も新学期が始まりました。大統領には約30年大統領を務めている現職のムセベニ氏が60%の支持を集め再選しました。大統領選挙はお祭りのような騒ぎでしたが、暴動や大きな事件も無く終わり一安心です。今回は私のウガンダでの交通手段について紹介します。

ウガンダでの交通手段は大きく3つ！

○マタツ



○スペシャルタクシー



×ボダボダ



ウガンダでは上の3つが主な交通手段です。「マタツ」と呼ばれる乗り合いタクシー、日本でいう「タクシー」と同じ貸し切りで乗る「スペシャルタクシー」、そしてバイクタクシーの「ボダボダ」です。長距離移動の際は大型バスもあります。ウガンダでは日本ほど車を所有する家庭が少ないので、移動の際には上記の乗り物を利用するのが一般的です。ボダボダは至る所に走っており、現地の人々は少しの移動でも歩かずに利用しています。便利そうですが、ボダボダをに乘るのを私達ボランティアは**禁止**されています。整備不良、ヘルメットを被らない、無茶な運転、3～4人乗るなどボダボダは危険が多いです。みなさんも途上国に行った際は乗らないようにしましょう。

日本の中古車がほとんど。車内はすし詰め状態！

ウガンダで走っている車のほとんどは日本の中古車です。マタツは中古のトヨタのハイエースを改装したもので、ドライバー合わせて15人乗りです。ウガンダのありとあらゆる道路を走っており、1番メジャーな乗り物です。40万キロ以上走っているマタツも見たことがあるので、ハイエースの凄さを感じます。私の住むブシェニのような地方では、マタツの他に乗り合いセダンタクシーも走っています。

マタツには運転手の他にコンダクターと呼ばれる車掌が乗っており、窓から体を乗り出して行き先を叫びながら客集めをしています。乗る際は手を上げるなどしてマタツを停めます。マタツは基本的に全席埋まったら発車しますが、首都と違い地方ではなかなか人が集まらず、1時間や2時間待つなんてこともよくあります。降りたい場所（ステージ、バス停のようなもの）になったら「**ステージ!**」と言えば停まってくれます。お金は降りる時や降りる直前にコンダクターに払いますが、多めに請求されたり、トラブルを避けるため、乗る前に必ず料金の確認をしておきます。

首都では定員の15人しか乗せませんが、地方では20人以上、乗せれるだけ乗せます。**5人乗りのセダンタクシーに10人**（後ろ6人、前4人）乗ったこともありました。こんな経験も途上国ならではの。

首都はマツツ、人、マツツ！



首都カンパラのタクシーパーク。行き先のマツツをここから探します。



カンパラの道路はマツツで埋め尽くされています。渋滞が深刻な問題です。



渋滞の間をバイクや人がすり抜けます。事故や盗難に注意が必要です。



長距離移動の休憩所では、飲み物や牛串、焼きバナナなどの物売りに囲まれます。



ウガンダには信号はほとんど無く、ハンブ(バンブ)と呼ばれるスピードを落とすための起伏が道路にあります。



首都と地方都市間は大型バスが通っています。こちらは乗る前にチケットを買います。満席にならないと発車しないため、バスによっては3、4時間待つなんてこともあります。

あとがき

ウガンダでの移動はハンブが多く揺れたり、運転が荒かったり、人が集まらなかったりとなかなか大変です。私はウガンダ隊でも遠い方におり、任地ブシェニからカンパラまではマツツ(セダntaxi)と大型バスを乗り継いで約7時間ほどです。この不便さにも慣れてきましたが、カンパラから帰ってくるとどっと疲れます。

